

## 第 10 回日中韓財務大臣会合 共同メッセージ（ポイント）

【2010 年 5 月 2 日 ウズベキスタン・タシケント】

日本、中国、韓国の財務大臣は、2010 年 5 月 2 日、ウズベキスタン・タシケントにおいて第 10 回日中韓財務大臣会合を開催した。現下のマクロ経済・金融情勢、地域金融協力、及びその他共通の関心事項について意見交換した。

我々は、国際的な金融危機に対処するために講じたマクロ経済政策や措置が好影響をもたらし、経済回復が更に堅固なものとなっていることを歓迎。我々は、危機後に直面している課題に留意し、経済回復を支えるために一層協力していくことにコミット。我々は、引き続き強固で持続可能かつ均衡のとれた経済成長を促進するため、適切なマクロ経済政策及び戦略を実施し、日中韓の対話を強化していく。

我々は、ASEAN+3 財務大臣会議プロセスにおける地域金融協力の進展を議論するとともに、引き続き緊密に協力していくことを再確認した。チェンマイ・イニシアティブのマルチ化が 2010 年 3 月 24 日に発効したことを歓迎。ASEAN+3 マクロ経済リサーチ・オフィス（AMRO）及び信用保証・投資ファシリティ（CGIF）の設立とともに、我々の強固なコミットメントと ASEAN+3 メンバーの協力の成果となるもの。新たな出発点に立ち、我々は、将来の地域金融協力の優先事項を検討するため、より緊密に作業していくことに合意した。

我々は、G20、APEC などの国際的及び地域的なフォーラムにおいて引き続き協力していくことに合意。

我々は、本会合における実り多い成果を多とし、日中韓財務大臣プロセスが、引続き、政策対話と協調のための効果的な枠組みとしての役割を引き続き果たしていくとの見方で一致。